

令和7年 第4回交通・環境部会 運営委員会議事録

日 時 令和7年10月2日（木） AM11:00～

場 所 熊本県自動車会館3階特別室

参加者 仲 担当理事

山口康弘運営委員長 齋藤一基副運営委員長 井崎安德副運営委員長

杉本修一委員 都留 伸委員 西村栄二委員 吉井誠哲委員

松下 圭委員

竹下龍二警部（県警）岩橋耕生係長（JAF）

事務局 松本伸二専務理事 羽田野晃央事務局長 住本未佳課長

○山口運営委員長議事進行

○仲担当理事挨拶

おはようございます。本日は上期も終わり、下期に入ったばかりで決算集計の大変な所、お集まり頂き有難うございます。

先月、『交通安全の集い』、『サポートカー体感・体験試乗会』につきましては、皆様のご協力のおかげで、無事に終了することが出来ました。

本日は、来年の開催に向け、振り返って話し合いが出来ればと思いますので、短い時間になりますが、よろしくお願い致します。

議題1，令和7年度第35回『自動車ディーラー交通安全の集い』振り返りについて事務局より説明。

令和7年度第35回『自動車ディーラー交通安全の集い』大会次第

1) 開会

2) 交通事故による犠牲者に対する黙とう

3) 会長挨拶

熊本県自動車販売店交通安全協議会 会長 西 治三朗

4) 来賓祝辞

熊本県警察本部交通部長 警視正 合瀬 勝彦 様

九州運輸局熊本運輸支局 支局長 吉岡 順一 様

5) 来賓紹介

熊本県警察本部 交通部参事官兼交通企画課長 警視 山浦 隆之様

交通部聴聞官兼交通企画課次席

兼交通事故防止総合対策室室長 坂本 孝則 様

交通部交通企画課交通事故防止総合対策室室長補佐

警部 竹下 龍二 様

九州運輸局熊本運輸支局 首席運輸企画専門官 田中 亮輔様

- 6) セーフティアドバイザー委嘱状交付
日産プリンス熊本販売株式会社 東家 洋介 様
- 7) 優良運転者の表彰
30年 株式会社スズキ自販熊本 山下 享延 様
20年 アデル・カーズ株式会社 山口かおり 様
- 8) 活動報告
熊本県自動車販売店交通安全協議会 副会長 仲 敏彦
- 9) 大会宣言
熊本日野自動車株式会社(男性) 永嶺 竜生 様
株式会社モトーレンフロイデ(女性) 川地二千夏 様
- 10) 交通安全講和
熊本県警察本部交通部交通企画課交通事故防止総合対策室室長補佐
警部 竹下 龍二 様
- 11) 記念講演
熊本市消防局 中央消防署 警防課一部 出水救急小隊
消防司令補松本 章寿 様

12) 閉会

以下、大会次第、役割分担に基づき、意見交換

- ①タイムスケジュールについて
- ②駐車場について
- ③役割分担について
- ④総合的にについて
- ⑤記念講演について

「緊急時の対応」～熊本市消防局の現状と救命の連鎖～

○駐車場担当でしたが、例年より駐車場が満杯で、一般車道まで並び迷惑を掛けた状態でした、何か対策が出来ないか。

・貸し切りは無理なので、会場変更するか、を含め要検討。

⇒県庁に一般駐車場があるが、2時間までで、団体貸し出しは不可。

⇒近隣パーキングの地図を案内するか、競技場の駐車場にも問い合わせしてみる。

○記念講演に「交通事故被害者」の講演を依頼してはどうか。

・県警より、犯罪被害者支援室があるので問い合わせは可能。

○参加人員について、新入社員が例年減っている状態なのに参加人数枠が多い。

もう少し減らしてもらえないか。

・集いの目的として「交通安全活動を目的」としているので、新入社員だけではなく、交通安全を普及できる人、交通違反をした人など、目的に則った形で参加して欲しい。

議題 2. 第 10 回「安全運転サポート車体感・体験試乗会」の振り返りについて

開催日時 令和 7 年 9 月 28 日（日）10：00～15：00

開催場所 熊本県運転免許センター

共 催 熊本県警察本部・

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会熊本県支部

熊本県内自動車ディーラー10 社、9 台

協 力 一般社団法人 日本自動車連盟熊本支部

電動車いす安全普及協会・独立行政法人自動車事故対策機構

来場者数 145 名

以上、当日参加社より意見交換

○前回よりも非常に多かった、その中で何人かに「これ毎年開催してますよね」と言われた。10 回目を迎え、もっと継続出来ればいいと思う。

○天候が心配されたが結果的にはいい形で、大盛況でいいイベントだった。

サポカー試乗会を実施しているのは、九州では熊本だけと聞いている。県警、事務方の皆さん、準備等、大変と思います。有難うございます。

○お客様が試乗される際、よく理解されていない状態で乗られるので、事前に「衝突被害軽減ブレーキ」「誤発進防止装置車両」と案内した方がいいのでは？
⇒出来てはいるが 伝わっていない。要改善。

併せて、サポカーとは？のチラシも作成した方がいい。

○天気は持ちこたえたが風も吹かず、大変蒸し暑かったので、スタッフの皆さんは大変だったと思います。労（ねぎら）ってあげて下さい。

議題 3. その他

熊本県警察本部 竹下警部より

サポカー体感・体験試乗会については、皆様のご協力のお陰で事故もなく盛況のうちに終わることが出来ました。有難うございました。高齢者の交通事故を減らす為には、サポカーの普及がその大きな役割となると思っております。

熊日の記者の方も試乗され、「前より性能が上がってますね。」

と言われました。高齢者だけではなく、若い方にも、普及出来たらと思っております。

交通事故情報について、

県内の交通事故死者数が昨日時点で、32 名（前年より△7 名）

その中で、高齢者が 20 名と 6 割にもなります。

9/21～30 の秋の交通安全運動期間中にも事故が発生件数 72 件（前年比+13 件）死者数 1 名前年比±0）負傷者数 91 名（前年比+15 名）残念ながら増加してしまいました。9/30 の交通事故死亡者ゼロの日でも残念ながら玉名で 85 歳の運転手が、88 歳の方を轢いてしまいお亡くなりになりました。

全国的に、在日外国人、訪日外国人の増加により交通事故が増加傾向となり、県議会においても議題に上がっています。

交通事故が昨年 50 件、今年は 9 月時点で 57 件と多発し、外免（外国免許）切り替えも昨年 529 件、今年は 1,229 件と大幅に増えています。

皆様の所で就労されている外国人の方に対して、交通安全教育の実施を検討中であり、各社ごと、あるいは、全社まとめてでも要望があれば県警から講師を派遣致しますので、ご相談ください。

○一般社団法人 日本自動車連盟熊本支部 岩橋係長より

J A F による交通安全調査について

8 月チャイルドシート着用率調査を、動植物園前、ゆめタウン光の森で実施。

全国 82.4% に対し、熊本県は 87.6% プラス 5.2% と高い使用率となりました。今後は正しい着用を目指し取り組んでいきたい。横断歩道の停止率調査も実施中で 12 月に調査報告書をまとめて報告いたします。

以上で、第 4 回交通・環境部会 運営委員会は終了した。

○次回開催予定日 令和 7 年 1 2 月 1 日（月） 1 8 : 0 0 ～ホテルキャッスル
交通・環境部会、人材開発・コンプラ部会、業務部会合同部会